



令和5年10月30日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

グローバルサイエンスキャンパス（GSC） 令和5年度全国受講生研究発表会開催 受賞者を決定

JST（理事長 橋本 和仁）は、グローバルサイエンスキャンパス（GSC）令和5年度全国受講生研究発表会を10月28日（土）および10月29日（日）に開催し、文部科学大臣賞以下、優秀賞を決定しました。

GSCは、世界を舞台に活躍できる科学技術人材の育成を目的として、卓越した意欲と能力を持つ高校生などを対象に、各地の大学等で国際的な活動を含む高度で体系的な育成プログラムを開発、実施する取り組みです。JSTは平成26年度より事業を推進しています。

第10回となる発表会では、同事業を実施している全国の機関で学んだ受講生49人が計42件の発表を行い、日頃の研究活動の成果を披露しました。

次世代の科学者に求められる科学的探究能力の獲得度合いや、研究の専門的達成水準のほか、研究の意義や貢献を適切にアピールできたかなどについて審査を行った結果、文部科学大臣賞1件、科学技術振興機構理事長賞1件、審査委員長特別賞2件、優秀賞7件が選ばれました。

グローバルサイエンスキャンパス推進委員会委員長の大路 樹生 名古屋大学 特任教授は総評を次のように述べています。「ここしばらくのオンライン方式から対面に戻り、みなさんの生き生きとした表情を目にしながら発表を聞くことができ、とても嬉しく感じました。真理の探究はなかなか困難で時間もかかることですが、新たなことが解明できた時の感動を皆さんは味わったことと思います。ぜひその感動を忘れず、今後も新しい世界にチャレンジしてほしいと思います。」

<添付資料>

別紙：グローバルサイエンスキャンパス（GSC）令和5年度全国受講生研究発表会
受賞者一覧

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 理数学習推進部 能力伸長グループ
〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル
大山 健志（オオヤマ タケシ）
Tel：048-226-5669
E-mail：[gsc\[at\]jst.go.jp](mailto:gsc[at]jst.go.jp)

グローバルサイエンスキャンパス（GSC）
令和5年度全国受講生研究発表会 受賞者一覧

※以下、実施機関、発表者、学校名、学年、発表テーマの順

■文部科学大臣賞（1件）

東京大学

池上 十和子 近畿大学附属豊岡高等学校 高2

「カニ殻からバイオプラスチックを生成する新規微生物の探索と同定」

■科学技術振興機構理事長賞（1件）

九州大学

斉藤 成来 福岡県立明善高等学校 高2

「植物グルコシノレート生合成に関わる硫酸転移酵素のX線結晶構造解析」

■審査委員長特別賞（2件）

静岡大学

小泉 剛愼 静岡県立静岡高等学校 高2

「空気中の水の捕集効率を上げるには」

東京大学

佐藤 裕成アレックス 渋谷教育学園渋谷高等学校 高3

「テザーとクライマーを用いた衛星捕獲・輸送システムに向けたランデブードッキング技術の検討」

■優秀賞（7件）

九州大学

森 来理 大分県立大分上野丘高等学校 高2

「パンダ手話はどのくらい情報が伝わるか？」

名古屋大学

鶴見 莉子 滝高等学校 高3

「宇宙線イメージングによる樹木の内部観測」

琉球大学

眞栄城 綾香 沖縄県立球陽高等学校 高2

「バナナセセリ その不思議な生態にせまる Part 4～ワックス分泌経路の探索～」

東京大学

櫻庭 佐英子 Ashbury College（アシュベリー カレッジ） 高2

「胚発生時の低酸素状態がゼブラフィッシュの成長に及ぼす影響」

慶應義塾大学（共同機関：熊本大学、東京薬科大学）
桑原 れい 東京都立国際高等学校 高3
「細胞小器官による細胞キラリティの形態学解析」

慶應義塾大学（共同機関：熊本大学、東京薬科大学）
稲井 優太 慶應義塾高等学校 高2
「灰白質と白質のアストロサイトの分化を制御する候補遺伝子の同定」

慶應義塾大学（共同機関：熊本大学、東京薬科大学）
福田 幹晟 神奈川県立横浜翠嵐高等学校 高2
「オリゴデンドロサイト前駆細胞の形態観察とその領域特異性の検証」

<文部科学大臣賞受賞者コメント>

池上 十和子（イケガミ トワコ）さん（近畿大学附属豊岡高等学校 高2）
発表テーマ「カニ殻からバイオプラスチックを生成する新規微生物の探索と同定」
「約2年前、セミの羽を見てプラスチックに似ていると思い、その成分がキチンであること、そして同じ成分がカニ殻にも含まれていることを知りました。そこで、カニ殻からプラスチックを作れるような研究ができる環境を調べたところ、GSCを見つけ、無心で応募しました。はじめは何も分からない状態でしたが、がむしゃらにやれば結果が出るということを学び、非常に素敵な経験ができました。ここまで支えてくださった皆様に感謝申し上げます。

※各賞受賞者の研究成果の要約については、下記URLよりご参照ください。
https://www.jst.go.jp/cpse/gsc/about/happyou/r5_1.pdf